

PPS

耐薬品性一覧表(参考資料)

◎：ほとんど影響なし ○：条件により使用可 △：使わない方がよい ×：使用不可

薬品名	PPS
アセトアルデヒド	◎
アセトン	◎
アニリン	◎
アンモニア水	○
イソオクタン	◎
イソプロピルアルコール(イソプロパノール)	◎
イソプロピルエーテル	◎
エチルアルコール	◎
エチレングリコール	◎
エチレンジアミン	◎
オゾン	○
キシレン	◎
ギ酸	◎
クエン酸	◎
グリセリン	◎
クレゾール	◎
クロム酸	△
クロロホルム	◎
ケイ酸ナトリウム	◎
シアン化ナトリウム(青酸ソーダ)	◎
ジエチルエーテル	◎
ジオキサン	◎
シクロヘキサノール	◎
シクロヘキサノン	◎
シクロヘキサン	◎
ジクロロエチレン	◎
ジクロロジフルオロメタン	◎
ジメチルアニリン	◎
ジメチルフォルムアミド	◎
シリコーン油	◎
スチレン	◎
タール	◎
チオ硫酸ナトリウム	◎
デカリン	◎
テトラクロロエチレン	◎
テトラヒドロフラン	◎
テルペンチン	◎
トリエタノールアミン	◎
トリクロロエチレン	○
トルエン	△
ナフタレン	◎
ニクロム酸カリウム	◎
ニトロベンゼン	◎
ノロメタン	◎

薬品名	PPS
パークロロエチレン	◎
パラフィン	◎
ピリジン	◎
フェノール	◎
フタル酸ブチル	○
ブチルアミン	○
ブチレングリコール	◎
フッ化水素(フッ酸)	◎
フルフラール	◎
ヘキサン	◎
ヘプタン	◎
ベンジルアルコール	◎
ベンズアルデヒド	◎
ベンゼン	○
ベンゼンフルボン酸	◎
ホウ酸	◎
メタノール	◎
メチルエチルケトン	◎
メチルピロリドン	○
メチルフェニルエーテル	◎
リン酸	◎
亜硫酸	◎
亜硫酸水素ナトリウム	◎
塩化アルミニウム	◎
塩化アンモニウム	◎
塩化エチル	◎
塩化カリウム	◎
塩化カルシウム	◎
塩化ナトリウム	◎
塩化マグネシウム	◎
塩化メチレン(ジクロロメタン)	×
塩化第一鉄	◎
塩化第二鉄	◎
塩酸	◎
塩素ガス	—
塩素酸ナトリウム	◎
塩素水	—
過マンガン酸カリウム	◎
過酸化水素	○
酸化亜鉛	◎
四塩化炭素	◎
次亜塩素酸カルシウム	◎
次亜塩素酸ナトリウム(次亜塩素酸ソーダ)	○
臭化カリウム	◎

薬品名	PPS
臭化ナトリウム	◎
臭化水素	◎
臭酸	◎
臭素(液体)	×
臭素水	◎
樟脳(ショウノウ)	◎
硝酸	○
硝酸カリウム	◎
硝酸ナトリウム	◎
硝酸銀	◎
酢酸	◎
酢酸アミル	◎
酢酸エチル	◎
酢酸カリウム	◎
酢酸ブチル	◎
酢酸メチル	◎
酢酸鉛	◎
水酸化カリウム	◎
水酸化ナトリウム(カセイソーダ)	○
水酸化マグネシウム	◎
石油エーテル(ベンジン)	◎
炭酸アンモニウム	◎
炭酸カリウム	◎
炭酸ナトリウム	◎
炭酸水素カリウム	◎
炭酸水素ナトリウム	◎
二塩化エチレン	◎
二酸化硫黄	◎
二硫化炭素	◎
乳酸	◎
尿素	◎
濃硫酸	◎
漂白液	—
有機清浄液	◎
硫化すず	◎
硫化ナトリウム	◎
硫化ニッケル	◎
硫化マグネシウム	◎
硫化水素	◎
硫酸	◎
硫酸アルミニウム	◎
硫酸カリウム	◎
硫酸ナトリウム	◎
硫酸亜鉛	◎

⚠️ ご注意

- ★この耐薬品性一覧表は、材料そのものの耐薬品性を表すものです。従って、製品の耐薬品性を保証するものではありません。
- ★この耐薬品性一覧表は、あくまで目安です。使用環境・使用条件・使用期間などにより、判定が「◎」であっても、ご使用に適さない場合があります。必ず実際の使用条件下でご確認のうえ、ご自身の判断でご使用下さい。
- ★この耐薬品性一覧表は樹脂材料そのものの耐薬品性を表すものです。